

平成6年8月25日

高知土木技士

No.15

(社)高知県土木施工管理技士会-(高知市本町4-2-15 建設会館5F TEL25-1844)



平成6年度 高知県優良建設工事

施 工 株式会社 双葉造園
工 事 名 高道改(アクセス)第3号
 県道高知市北部環状線道路改良(植栽工1工区)工事
場 所 高 知 市 高 須
主任技術者 小 野 内 徹

防災指導課と土木管理技士会

高知県防災指導課長 田中 千鶴 男

高知県土木施工管理技士会の会員の皆様には日頃県政のため、特に土木行政につきましては何かとご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

突然、技士会の方からご指名で会報の寄稿を頼まれましたが、何分口下手で、そのうえ文章もあまり書いたことのない人間ですので、会報「高知土木技士」への投稿は遠慮をさせてもらいたいと思いましたが、当課が日頃お世話になっている土木施工管理技士会との関係について、防災指導課がどのような関係にあるか会員の皆様に少しでも理解していただければと思い、恥をかき捨て投稿しました。

さて、平成6年度の国の予算も決まり、これからは工事の発注に取り組み、今年度も県は景気対策として前倒（上半期までに）80%強を目標としています。

当課は、総務班・建設検査班・設計基準班・防災指導班で構成された課で、土木部にそれほど詳しくない方は災害復旧に関する課であると認識されている方が多いように思われますが、実際は工事を発注する際の歩掛・単価の決定を行なう設計基準班、また建設検査班は工事の中間・完成検査、土木技術者の研修等を、台風等の異常気象による災害復旧の業務は防災指導班の担当であります。

このなかでいつも話題になります建設検査班の工事の中間・完成検査で、その工事の責任者の資格について、毎年土木技術者研修でも

説明しておりますが、主任技術者、管理技術者の資格について、単なる必要資格ではないということを理解されていない点でございます。土木管理技士（一、二級含む）は、当然その資格の重要性を認識され、工事現場のプロとして指導監督の責任者であると思われま。これは何も当課の工事に限ったものではなく、他所管の工事も同様であります。特に近年、会計検査等においても良質な施工を要求されています。

高知県土木施工管理技士会は、建設技術の向上とその普及に努められ、土木施工管理技士を育成し、その社会的地位と施工管理技術の向上を図り、本県の建設業界の発展に寄与する組織で、立場は違ってもこれからの事業推進にあたっては、良質な施工が確保されることが県政の発展のうえからも必要であります。土木技士会の建設業界に果たす役割は益々重要性を増すものと思われま。

特に、私の「防災指導課と土木管理技士会」というタイトルは、これからの現場においては、土木施工管理技士の皆様のご指導とご支援を必要とし、また公共事業における工事管理等の技術指導を担当している当課としては、高知県の公共工事建設のため一層連帯を深めていかなければと考えて投稿しました。今後共よろしくお願い致します。

会員の皆様へ投稿のお願い

会員の皆様大変ご苦勞の事と存じますが一筆書いてみませんか。

現場の体験記、趣味、娯樂、旅行等日常の暮らしの中でのどんなことでも結構です、又、技士会の実施しております研修講習会

に対する要望ご意見がいただければ今後の参考になります。内容、字数にはこだわりません。会員の皆様からの投稿をお待ちしております。

はじめまして、五台山道路建設事務所です。

五台山道路建設事務所長 森野 楯夫

高知県土木施工管理技士会の皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

この4月、新緑の芽吹きとともに高知土木事務所内に誕生しました五台山道路建設事務所と申します。何分にも生まれただけの若輩事務所のこと、諸先輩方のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

さて、五台山道路と申しますと、一般には竹林寺や牧野植物園の在る五台山へのアクセス道路、あるいは五台山公園の園内道路と思

われがちであり、その建設事務所は、「牧野植物園の拡張構想に伴う道路整備のために設置された事務所だ」と思い込まれている方も少なくありません。現にこの4月の新任の挨拶回りのなかで、事務所は五台山の山中にあると誤解されていた方もありました。

今後、県が推進する数々のビッグプロジェクトに深く関わりを持つ五台山道路について、諸先輩方をはじめ広く県民、市民に知っていただき、ご理解とご協力をお願いするうえで、この場をお借りして五台山道路建設事務所について簡単に紹介させていただきます。



1、五台山道路建設事務所の設置目的

五台山道路建設事務所は、四国横断自動車道や高知東部自動車道を補完するとともに、高知市街地周辺の道路交通網体系を確立し、「なんごく・こうち地方拠点都市地域」の整備を促進するうえで、大きな役割を担う重要路線として

- 県道高知北環状線(都市計画街路五台山道路を含む)
- 国道195号バイパス(あけぼの街道)の2路線を短期的、集中的に整備するため、新しく設置された特設事務所です。

2、五台山道路建設事務所の組織

当事務所は、高知土木事務所内所内所として設立されたこととはご紹介したとおりであります。工務課のなかに用地班、工務第1班、工務第2班が配置され、用地4名、工務10名の正規職員のほか、非常勤、臨時職員を合わせ、総勢17名が用地の買収や工事の実施に、一丸となって取り組むことの出来る体制を整えています。

3、五台山道路建設事務所の所管事業

1) 県道高知北環状線（五台山道路）

五台山道路とは、都市計画街路五台山道路0・8kmと、県道高知北環状線5・9kmを合わせた4車線道路の通称であり、高知市薊野を起点として四国横断自動車道の高知インター、国道32号、県道大津北本町線、国道195号、国道55号と交差しながら、五台山腹を貫通し、五台山の南部で高知新港の臨港道路接続するまでの総計6・7kmの路線です。

この内、薊野地区の都市計画街路0・8kmの区間は、平成7年度末までに4車完成、高知インターから国道55号までの、3・9kmの区間は、平成8年度末までに2車暫定で仕上げる計画です。また国道55号から終点まで2・0kmの区間についても、今世紀中の出来るだけ早い時期に開通させたいと考えています。

ご承知のように、昨年11月に開通した県立美術館前は、美の殿堂へのアクセス道にふさわしい修景を施し、「美術館通り」として県民に親しまれています。

この道路の上部には、高知ジャンクションを起点とする高知東部自動車道が2層構造で走り、高知市高須の絶海池で分離したのち、五台山南部地域を経て高知空港、更に県東部地域の中核都市安芸市へと向かいます。

五台山道路が完成しますと、高速道路、国道、県道、空港、新港等の主要施設や、予定されている各種プロジェクトを結ぶ、効率的な交通ネットワークが形成されます。これに

よって高知市周辺部の交通渋滞が解消され、安全で円滑な都市交通が確保されることとなり、高知市の都市機能がフルに発揮されるとともに、東部地域の発展と活性化に大きく貢献することになります。

2) 国道195号バイパス（あけぼの街道）

国道195号は、県都高知市と徳島県阿南市を結ぶ幹線道路であり、本四連絡道路神戸・鳴門ルートの開通によって、近畿経済圏との交流を促進し、県勢の発展に寄与する重要な路線です。

しかしながら、高知市から南国市、土佐山田町に至る沿線地域では、都市化の進展に伴う日常的な交通渋滞が深刻なものとなっています。

あけぼの街道が完成しますと、国道195号のバイパスとして県東部地域との時間短縮を図り、他の幹線と一体となって都市周辺部の道路網を形成するとともに、本県と近畿経済圏を最短で連結するルートとして、高速道路にも劣らない波及効果を発揮するものと期待されています。

あけぼの街道の事業化区間は、高知市北久保から土佐山田町中組までの11・4kmですが、このうち県道八幡大津線までの4・6kmを当事務所が所管し、残りの6・8kmは南国土木事務所が整理します。

現在、当事務所では、起点部の曙大橋の平成8年度完成を目指し下部工に着手しております。また、早期に全線開通を図るべく用地買収にも取り組んでいます。

当事務所ではこれら2路線の整備を担当し



高須新町付近想像図



高知県立美術館前想像図

- 輸入促進地域「F A Z」（高知市）
…五台山道路
- 浦戸湾東部エコポリス構想（高知市）
…五台山道路
- 物流拠点の整備〔十市・水分・五台山・中島〕（高知市・南国市）
…五台山道路・あけぼの街道
等です。

当事務所職員一同は、完成までの時間的制約のなか、膨大な用地の取得や事業の執行、他事業との諸調整等、非常に厳しい状況ではありますが、担当する路線の大きな意味、役割を十分に認識し、誇りと情熱を以て取り組んでまいります。

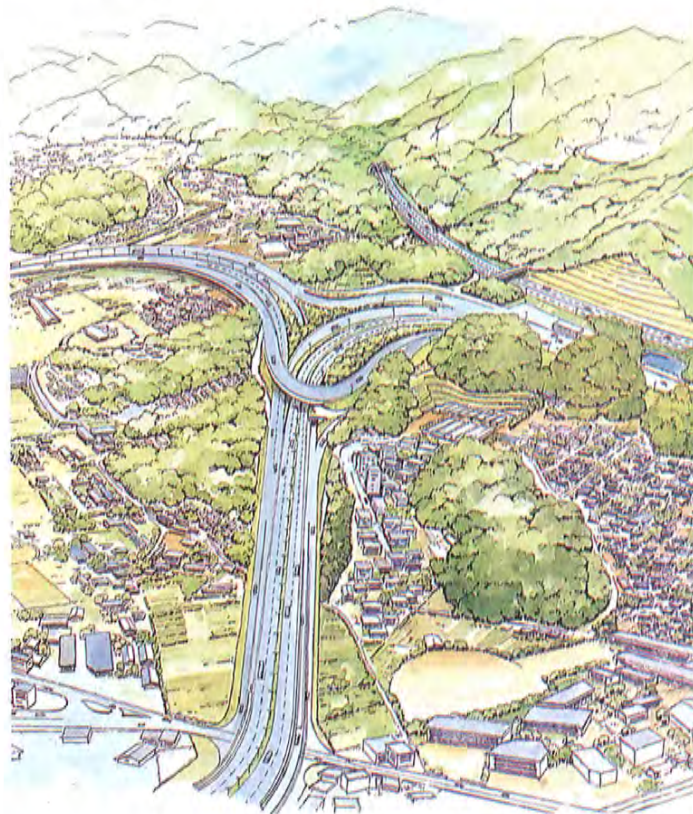
以上、五台山道路建設事務所の概要について簡単に紹介させていただきました。

皆様方のご指導、ご鞭撻をよろしくお願いたします。

ていくわけですが、2路線共に「なんごく・こうち地方拠点都市地域」の将来を担い、当地域のビッグプロジェクトを推進するうえで必要不可欠な路線です。

ここで、当路線が密接に関連する現状のプロジェクトの幾つかをご紹介します。

- 四国横断自動車道の整備
…五台山道路・あけぼの街道
- 高知東部自動車道の整備
…五台山道路
- 高知空港の拡張（南国市）
…五台山道路
- 重要港湾高知新港の整備（高知市）
…五台山道路
- 工科大学の設置（土佐山田町）
…あけぼの街道
- 高知中央中核工業団地開発（土佐山田町）
…あけぼの街道
- 産業業務施設「南国オフィスパーク」（南国市）
…あけぼの街道



高知ジャンクション周辺想像図

会員の広場

“入札制度改善について”

広報委員長 高陽開発(有) 玉木 通雄

昨今、公共事業入札制度についての議論が新聞紙上等で、報道され建設業界は官民を問わず集中豪雨的な攻撃的となっている。マスコミの論調をみれば、日本の公共事業は、諸外国特に米国等と較べると30パーセント割高だ。指名競争入札が、中心になっているので、国民は、談合入札により、高い買物をしている。入札保証人制度が、同業者間の保証となっているので、談合の温床となっている等々。

このような批判のため、発注者側も、建設省、地方公共団体等が、一般競争入札の導入を柱とする、入札制度の改善に着手した。

しかし、本当に指名競争入札制度より、一般競争入札が優れているのだろうか。今回の入札制度改善の動きも最初は、日米経済摩擦にはじまり、横須賀基地の談合問題等がある。外圧の一環として扱えられるものであり、これに大手ゼネコンの贈賄スキャンダルが火に油を注いだ結果となっている。

しかし、本質は全くのはずれの論議であり、このままでは角をためて牛を殺すことになりかねないと思う。

第1に、米国と較べて日本の公共事業は割高だろうか？

日本の公共事業が、米国より30パーセント割高だと云うが、米国の諸物価は、日本の50パーセントというのが、定説でありこう考えると米国の公共事業は、日本に較べて40パーセントも割高である。

其の証拠に、米国政府が携帯電話に関して、官民あげて米国モトローラ社を押し込んで来たのは、我国でも良く知られているが、公共事業に関しては、彼等が入札に参加しても

(談合をしていると彼等が批判する)日本企業より安く入札出来ない。横須賀基地にしても、日本企業が高ければ、米国企業に施工させれば良いではないか。だが、米国建設業界は「日本の公共事業は、魅力がない」と云って日本に参入しようとしな。魅力がないと云う事は、安すぎると云う事なのだ。建設白

書によれば、日本の建設業の総売上げに対する純利益率は、3パーセントなのだ。実に、建設業界は消費税分しか利益を上げていないのである。1億円の工事で、300万円ダンピングすれば、利益は、ゼロになるのだ。これだけのすばらしい積算をしている日本の発注者の努力は、正に神業と云える。

第2に、指名競争入札は、一般競争入札にくらべそれほど悪い制度だろうか。

昨年米国に行き、各所をプライベートに歩いて回ったが、最も驚いたのは、公共工事の出来形の劣悪さである。シカゴの地下鉄に乗った人はすぐに感じるのだが、座席にすわっていても上下左右のゆれに恐怖感を覚えるし、ケネディ空港に乗り入れるハイウェイも、とても日本の公共事業ならば、検査に合格するとは思えない。ここに、一般競争入札と、指名競争入札の差がみられる。

指名競争入札制度のもとでは、限られた指名のメンバーに入れてもらうために、業界は必死で良質の工事に取り組んで来た。だが、一般競争入札においては、業界の姿勢はまちがいになく、建設業の登録を取り消されない。最低限度の安価な工事に取り組むだろう。良い仕事をする為の施工管理が安い仕事をするための施工管理に移行して行くだろう。ロスの高速度道路の陥没の写真は、建設業界の者が見れば、施工がオカシイと誰しも思ったと思う。今迄の日本の業者が施工していれば、あのような事にはならなかったのではないだろうか。一般競争入札で、競争の果てに生き残った一握りの米国の独占建設産業は、公共事業の工期、工費等も実質的に決めていと聞いている。これでは、彼等が、日本の公共事業が魅力がないと云うのも、当然であろう。

第3の指摘の保証人制度だが、米国では、保証保険制度(ボンド制)を採用している。

ところが、この保証会社が、大手建設業者と結託して、新規業者の保証をしない。それどころか巷間では、マフィアの介入までうわさされているのは、周知の事実である。

以上に述べて来たことは、日本の公共事業の発注当局は、当然に知っている事であり、昨今の建設業界に対する逆風の中では、声を出す事も出来ないと思うが道を誤らぬようお願いしたいものだ。

最後に、マスコミ批判を一言。一連のゼネコン疑惑で、賄賂を要求するような首長を選んだ地元民への批判が全くないのは卑劣ではないか！

委員会

思いつくままに

研修委員 (株)森本興業 森本修功

7月25日午後、台風7号高知県南西部に上陸、勢力を弱めながら四国西岸沿いに北上した。本県への台風上陸は、平成4年8月9日以来、2年ぶりである。

一部で浸水被害なども出たが、幸いに大きな被害はなかった。深刻な異常渇水に悩む早明浦ダム周辺に慈雨をもたらすなど、各地で恵みの雨となった。

26日付けの高知新聞に“空飛ぶ給水車”とあった。うまい表現である。

先般、某先輩より、技士会の研修委員に委属されたとの電話があった、驚きと一抹の不安が脳裏をかすめた。委員として、どれほどのことができるかと。

それに追い打ちを掛けるように、先輩は一言付け加えた、新委員は、土木技士会の会誌に一筆書く事になっているといわれ、これはまいったなと思った。

元来、物を書くことの手な私は、幾夜も悩んだ末、恥を覚悟で筆を執ることとする。

私が土木とかかわりを持ったのは、大げさに言えば、この世に生まれた時からであり、(家業の関係で)、子どもの頃は、トロッコでよく遊んだものだ。

昭和32年4月、高知県に入り、県電気局に出向し、物部川水系の杉田発電所建設事務所に勤務することとなった。ダムの安定計算

を上司より命ぜられたが、当時は、今日のようにコンピューターやソフトも無く、参考書を頼りに、対数表と、手回しの計算機(タイガー)にて、日夜苦勞しながら、計算をしたことでした。

昭和36年3月県庁を退職(父が倒れた為)家業を引き継ぐこととなり、建設業1年生として現場を回り、施工方法の“いろは”を覚えながらの日々を過ごす。当時は、建設機械も少なく、人力施工が主であった。以来建設機械の発達や、施工方法の発達は、目を見張る進歩を遂げた。これに対応すべく、昭和44年建設業法の規定により、土木施工管理技術検定制度が発足され、施工管理の技術向上が図られ瀬戸大橋架橋や関西新空港等、わが国も世界に誇れる土木技術と評価されています。

制度が発足以来、早25年もたち施工方法、施工管理などもめざましい発展、進歩が遂げられ、今日は土木施工管理技士としての資格も確約されています。

委員の皆様の手手まといとなりながら、良いものを安く、早く、安全に造る、施工技術をめざし、会員皆様の技術向上、研修、講習、教育資料等選考に携わり、万分の一のお手伝いが出来ればと思っています。今後ともよろしくご指導お願いします。

事務局だより

1. 平成6年度通常総会

平成6年5月19日午後3時から建設会館4階会議室で開催されました。

当日は、会員120名(委任状928名)が出席し、来賓として田中防災指導課長を始め本会相談役の依光県議会議員、宮田建設業協会副会長、田井林業土木協会専務、中村建設高等職業訓練校校長、木村西日本建設業保証(株)高知支店長のご臨席を賜り、北村会長のあいさつ後、本年度の功績者5名と土木施工管理技術賞受

賞者26名の表彰をおこないました。引き続いて、平成5年度事業報告並びに収支決算報告の承認、平成6年度事業計画並びに収支予算書(案)を審議し承認されました。

本年度は、役員の改選期であり選考委員会を設け審議しその結果を西内委員長より発表があり新しい役員が決定しました。

平成6年度収支予算、功績者、技術賞受賞者並びに新役員は次のとおりです。



平成6年度予算

収入の部

科 目		予 算 額
収 入	会 費	8,730,000 円
	助 成 金	300,000
	事業収入	9,800,000
	雑収入	610,868
	繰越金	1,975,132
合 計		21,416,000

支出の部

科 目		予 算 額
支 出	経 費	7,616,000 円
	会 議 費	2,060,000
	事業費	8,471,000
	交付金	100,000
	負担金	2,500,000
	予備費	669,000
	合 計	21,416,000

平成6年度 功績表彰者

氏名	団体役職名	所属
河野 通久	理事	(有)河野建設
高橋 久雄	常任理事	(有)土佐建設
氏原 基春	理事	(社)高知県測量設計協会
宮田 喜弘	理事	大宮建設(株)
時久 義廣	常任理事	(株)時久建設

平成6年度 土木施工管理技術賞受賞者

氏名	所属
建設省 工事	
福井 一弘	1級土木施工管理技士 青木建設(株)
篠田 一正	1級 " (株)伊与田組
橋詰 浩三	1級 " (株)武内建設
農林省 工事	
浜田 章宏	1級土木施工管理技士 鍋島建設(株)
藤原 晟	1級 " (有)藤原建設
高知県 工事	
宮本 謙二	1級土木施工管理技士 宮本建設(有)
岡崎 充希	1級 " 宮田建設(株)
上岡 正人	1級 " (株)武内建設
広瀬 保喜	1級 " 岩井建設(株)
田所 和志	1級 " 須崎工業(株)
高橋 稔明	2級 " 青木建設(株)
間 圭司	2級 " (有)安本建設
永尾 敏雄	1級 " (株)田辺建設
弘光 三義	1級 " 常德産業(株)
山岡 喜也	1級 " (株)伊与田組
渡辺 尊彦	1級 " (有)平石工務店
片岡 幸次	1級 " 新宮開発(有)
中山 弘志	2級 " (有)三本建設
野川 明敬	2級 " (株)植村組
山崎 浩	2級 " (有)山崎興業
森下 芳治	2級 " (株)若竹組
浜田 一彦	1級 " (株)米村組
横川 博之	1級 " 四国開発(株)
森本 健造	1級 " (株)森本組
中脇 與之助	1級 " 中脇建設(有)
関本 俊一	2級 " 中村建設(株)

新 役 員 名 簿

(順序不同)

役職名	氏名	所 属	職 名
会 長	北 村 牛 基	長 香 開 発 (株)	会 長
副 会 長	細 木 伸 一	(株) セ イ ミ ツ	社 長
"	西 内 隆 許	伊 野 管 内 建 設 業 協 会	会 長
"	森 田 昭 男	(株) 轟 組	社 長
常 任 理 事	青 木 誠 光	(社) 高 知 県 建 設 業 協 会	副 会 長
"	伊 与 田 保 男	"	"
"	宮 田 益 吉	高 知 地 区 建 設 業 協 会	会 長
"	高 橋 久 雄	嶺 北 建 設 業 協 会	"
"	田 邊 正 也	(株) 田 邊 建 設	"
"	玉 木 通 雄	高 陽 開 発 (有)	社 長
"	松 木 正 隆	日 産 建 設 (株) 高 知 営 業 所	所 長
"	山 崎 濟	(有) 山 崎 興 業	社 長
"	森 田 浩 三	東 興 建 設 (株) 高 知 営 業 所	理 事
"	時 久 義 廣	(株) 時 久 建 設	社 長
"	小 林 隆 之	大 旺 建 設 (株)	技 術 部 長
専 務 理 事	岡 崎 忠 誠	(社) 高 知 県 土 木 施 工 管 理 技 士 会	専 務 理 事
理 事	竹 内 隆 造	高 知 県 建 設 技 術 公 社	理 事 長
"	山 脇 俊 二	高 知 土 木 事 務 所	所 長
"	安 岡 亮 一	南 国 土 木 事 務 所	"
"	岡 村 一 夫	伊 野 土 木 事 務 所	"
"	坂 本 賢 一	中 村 土 木 事 務 所	"
"	長 尾 達 雄	高 知 市 役 所 建 設 部	道 路 建 設 課 長
"	西 本 篤 郎	室 戸 地 区 建 設 協 会	会 長
"	磯 部 英 昭	安 芸 建 設 協 会	"
"	岡 崎 隆	南 国 建 設 業 協 会	"
"	織 田 好 和	高 吾 北 建 設 業 協 会	"
"	国 元 清 隆	高 幡 地 区 建 設 協 会	"
"	佐 田 寿	中 村 地 区 建 設 協 会	"
"	岡 崎 雅 雄	宿 毛 地 区 建 設 協 会	"
"	上 原 富 士 夫	土 佐 清 水 地 区 建 設 協 会	"

役職名	氏名	所属	職名
理事	氏原基春	(社)高知県測量設計業協会	会長
"	岩市卓雄	(社)高知林業土木協会	技術部長
"	高橋重敏	(社)高知県森林土木協会	専務理事
"	東山瑞穂	東山建設(株)	社長
"	松本義彦	香長建設(株)	専務
"	岸田貞雄	須崎工業(株)	安全管理室長
"	浜田聖二	ミタニ建設工業(株)	取締役工事本部長
"	三谷 斉	入交建設(株)	社長
"	徳原勝彦	関西土木(株)	取締役土木部長
"	大場智公	福留開発(株)	常務取締役
"	宮田喜弘	大宮建設(株)	社長
"	田内瑞穂	梓建設(株)	常務取締役
"	斉藤楠一	(株)晃立	"
"	奥田良彦	(株)生田組	技術部長
"	前田嘉道	(株)轟組	"
"	小松精二	(株)竹内建設	常務取締役
"	河野通久	大野工業(株)	会長
"	山本嘉忠	(有)手箱建設	社長
"	公文重徳	(株)サン土木コンサルタント	"
"	徳弘竹二郎	(株)協和コンサルタンツ高知支店	支店長
"	西谷宏志	藤本建設(株)	取締役
監事	溝渕淳二	溝渕建設(株)	社長
"	中村考男	高知河港事務所	所長

2. 平成6年度合同会議

平成6年6月30日、常任理事並びに各委員会委員による合同会議が開催されました。

当日は新しい委員に委嘱状が渡され、各委員会別に平成6年度事業について協議が行なわれ、制度委員会では会員の加入促進を引き続いて進めていくこと、技術委員会では施工

管理の手引書の作成の今後の進め方について、研修委員会では県外研修視察地の選定、地区研修の地区決定・研修方法等について、広報委員会では会報No.15号の原稿依頼先等編集について、各委員会別にそれぞれの事業について協議が行われました。

各委員会の委員は次のとおりです。

委員会委員名簿

(順序不同)

役職名	氏名	所属	職名
制度委員会	委員長	田邊 正也	(株) 田邊建設 会長
	副委員長	宮田 喜弘	大宮建設(株) 社長
	委員	溝渕 淳二	溝渕建設(株) "
	"	松本 義彦	香長建設(株) 専務
	"	磯部 英昭	(有) 磯部組 社長
	"	廣田 一男	高吾土建工業企業組合 代表理事
	"	田中 允泰	田中建設(有) 社長
	"	山本 修	山本建設(株) "
技術委員会	委員長	松本 正隆	日産建設(株)高知営業所 所長
	副委員長	渡部 守男	川田建設(株)高知営業所 "
	委員	公文 重徳	サン土木コンサルタント 社長
	"	石建 国元	(株) 石建組 "
	"	前田 嘉道	(株) 轟組 技術部長
	"	津野 充弘	(社) 高知県山林協会 調査班長
	"	牟田 建介	高知県土木部防災指導課 課長補佐
	"	片岡 一雄	" 建設検査班長
研修委員会	委員長	森田 浩三	東興建設(株)高知営業所 理事
	副委員長	有沢 速雄	長香開発(株) 専務取締役
	委員	高嶋 誠一	五洋建設(株) 四国支店 営業部長
	"	森本 修功	(株) 森本興業 社長
	"	松尾 大道	(有) 四国公業ボーリング 社長
	"	片岡 英則	西田鉄工(株) 四国営業所 常任顧問
	"	川島 将夫	大旺建設(株) 技術部長
広報委員会	委員長	玉木 通雄	高陽開発(有) 社長
	副委員長	小花 章生	入交建設(株) 営業部長
	委員	西沢 博之	(株) 西沢組 会長
	"	政岡 浅義	(有) 八幡土木工業 社長
	"	山崎 伝三郎	高大建設(株) "
	"	山本 郁夫	国土防災技術(株)高知支店 支店次長
	川淵 好一	日豊(株) 社長	